

平成 29 年度 第3回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時:平成 29 年7月 10 日(月) 10:00~10:20
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:信貴市長、大原副市長、根末副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

- ・平成 30 年度国家予算に対する要望について……………企画課
⇒承認
 - ・平成 30 年度大阪府予算に対する要望について……………企画課
⇒承認
-

◆審議概要

『平成 30 年度国家予算に対する要望について』

『平成 30 年度大阪府予算に対する要望について』

〈説明者〉根末副市長

〈補助説明者〉藤浪企画調整部長、上東企画課長、中井政策企画担当長

◎根末副市長から、政策調整会議にて本件原案のとおり承認された旨、説明あり

◎説明後、質疑応答

〈市長〉新規で要望する項目はあるのか。

〈企画課長〉ない。項目は同じだが、各事業の進ちょく状況に応じ、要望の内容は変更している。

〈市長〉丘陵地区の土地区画整理事業は概ね完了しているのではないか。保留地は 95%程度売却の目処がたっていると対外的に説明している。

〈企画課長〉担当課からは翌年度も補助金交付等への配慮を要望したいと聞いている。事業進捗の詳細については確認する。

〈市長〉農地集積・集約化対策整備交付金は府営事業に対する交付金を要望するということか。

〈企画課長〉そうである。

〈市長〉港湾関係の要望も多数ある。山側と浜側の両方に係る要望により、市域全体の活性化につなげていくことが大事である。

〈根末副市長〉本案件について、丘陵地区関連の要望内容について再確認するという条件付で、原案のとおり承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

※丘陵地区の土地区画整理事業について、関係課との調整の結果、要望することとした。

平成 29 年 6 月 27 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 30 年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 30 年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 中井担当長 芝野担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成29年度 第3回会議
付議事項	平成30年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行政財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
国の財政状況の悪化により、国から本市への補助金が減少している。

＜課題＞
国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。
なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

★当該事項に関する人員増の必要性*

人員増の必要性		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

※事業費及び人員を確約するものではない。

平成 29 年 6 月 27 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 30 年度 大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 30 年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 中井担当長 芝野担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成29年度 第3回会議
付議事項	平成30年度 大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大坂府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大坂府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	(2)明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<現状>
大阪府の財政状況の悪化により、大阪府から本市への補助金が減少しているほか、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況になる。

<課題>
大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H27年度	H28年度		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費			計	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関する人員増の必要性*

人員増の必要性		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
					H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。